

あけぼのつうしん

No.76

2021年7月16日発行

〔目次〕

■ 注目！notable case ～道内図書館（室）トピックス～

- 鷹栖町図書室 企画展「馬と、拓いて」・・・・・・・・ 1
- 芽室町図書館 企画展「卒業生に贈る言葉展」・・・・・・・・ 3
- 中札内村図書館 ハンモック&レジャーシートで外読書・・・・・・・・ 4
- こどもの読書週間の行事から・・・・・・・・ 5

■ 「北海道の図書館」活用のすゝめ・・・・・・・・ 9

■ お知らせ

- (1) 学校図書館サポートブックス 2期・後期・3期追加募集のお知らせです・・・・・・・・ 10
- (2) 令和3年度（2021年度）大会・研修会等情報・・・・・・・・ 11
- (3) 図書館関連団体まとめてみました・・・・・・・・ 12
- (4) 次はあなたのまちで… ～2021年春 こどもの読書週間の主な講師等一覧～・・・・・・・・ 13
- (5) 図書館ポータル「研修」をご活用ください・・・・・・・・ 13

北海道立図書館



■注目！ notable case ～道内図書館（室）トピックス～

寄稿

鷹栖町図書室 企画展 「馬と、拓いて」^{ひら}

昭和30年代くらいまでの鷹栖町には、わたしたちの生活を支える存在として「農耕馬」がたくさんいました。コロナ禍でどこか鬱々とした日々の中、馬のもつ力…大きさ、あたたかさ、包容力、などなど…を借りて子どもたちを元気にしたい、子どもたちの心を癒やしたいという思いから、“図書室に馬をよぶ！”という企画を考えました。

ところが、馬と馬そりに来てもらって子どもたちを乗せるという予定がコロナの状況により叶わず。肩を落としてしまいましたが、「今できることをやろう！」と気を取り直し、展示に力を入れることにしました。

企画展「馬と、拓いて」 展示




- 1. むかしの馬の写真コーナー
- 2. 郷土誌『文藝鷹栖』『新郷土たかす』に掲載されている馬のエピソードや記述の紹介・馬にまつわる本の展示コーナー（道立図書館からもお借りしました）
- 3. 図書室に来られる方々から募った「うまのおはなし」コーナー
- 4. 馬に関する方言の道南地方と鷹栖での違いを比較した「馬の語彙」コーナー
- 5. 郷土資料館蔵の馬具等やむかしの地図と家の間取り図などの展示コーナー

どれも面白いものになりましたが、特に興味深く、好評だったのは「うまのおはなし」です。高齢の方の子ども時代（馬と生活していた頃）のエピソード1つ1つに多くの方が足を止めており、心にグッと響くものがあったのだと思います。エピソード集めにあたっては職員がインタビューをすることもありましたが、皆さん生き生きと楽しそうにお話しされていたのも印象的でした。



企画展「馬と、拓いて」 **お話し会**

 馬とのエピソードをもつ3人の方によるお話し会も企画しました。「馬と生きる、いまむかし」と題し、開拓期から始まって、馬との思い出、最近の出来事（「森のようちえん*」にお仕事をする馬がやってきた！）まで語っていただきました。昔・いま・そして未来に繋がっていくような時間になりました。



※鷹栖町内にある保育施設（NPO 法人びっばらの森）

馬といえば道南や日高、十勝地方だと思っていましたが、かつてはどこにでも馬が当たり前前にいた…。馬との暮らしはわたしたちには知らないことばかりでした。今回の企画展をとおして、忘れられかけている町の歴史を絶対に残していかなければならないと感じました。子どもたちに大きな馬に触れてもらうことも実現させたいし、まだまだ知らないことは山ほどあります。「第2回」の開催をめざしながら、馬しらべを続けていこうと思います。

馬の目がすごくキレイだった
ことをよく覚えています

学校の行き帰りなど、蹄鉄屋
の前をいつも通っていた

馬がいなかったらなにもできなかった

馬は生きものだから、
人間のすることがわかる

馬のしっぽの抜け毛を学校に
持っていき、習字の筆にもらった

冬は箱馬そりといって、
そりに幌をかけて、
炭をおこして…

お姉さん達がお嫁に行く時、
お婿さんが馬そりで
迎えに来ました



馬のおはなし きかせて！



鷹栖の郷土文芸誌『文藝鷹栖』『新郷土たかす』



芽室町図書館 企画展

「卒業生に贈る言葉展」



芽室町図書館では、毎年、町内の小学校・中学校・高等学校の校長先生や担任の先生方に、卒業する児童生徒に向けたメッセージ色紙をお願いし、「卒業生に贈る言葉展」を開催しています。令和2年度も2月27日（土）から3月29日（月）まで行われました。

図書館で開催するねらい

この企画は、平成11年度（平成12年3月卒業）から開催しており、町内の小学校（4校）、中学校（3校）、高等学校（2校）の合計9つの学校にご協力いただいています。

人々が集う場所、行き交う場所である「公共図書館」で、幅広い年代に関心のある学校の風物詩に関連するイベントを実施し、新規利用者の開拓、関連資料の貸出し、ひいては図書館の振興につながるよう努めています。



↑ 年度ごとに綴じた過去9年分の色紙も展示（手前）



心のこもった色紙には、味わいがにじむ

色紙は筆書きの揮毫（きこう）だけでなく、似顔絵、写真、飛び出す絵本風の細工を施したするなど、各先生の得意分野で作成されており、どれも味わいがあります。展示した色紙は図書館の資料として保存され、企画展では過去10年分を見ることができます。

← 学校ごとに
校長先生と担任の先生方による色紙2枚が並び

多くの方が図書館に足を運ぶ

児童生徒やその保護者だけでなく、同窓生とその家族らも来館し、多くの地域の方がたにご覧いただいています。足を止めて見入り、写真を撮る方もいます。友だちを連れてきて自分の先生の色紙を指し示す子どもの姿には、思わずほほが緩みます。

また、これらの色紙は、中学校の卒業生が20歳となる5年後の成人式で再び掲示します。式には当時の中学校の先生も招待し、色紙を仲立ちに、さらに交流が深まる様子を町の事務局側としても楽しく見守っています。

卒業式シーズンと成人式、2度オイシイ（活用できる）企画展示です。

中札内村図書館

ハンモック&レジャーシートで外読書

中札内村図書館では、ハンモックとレジャーシートを屋外での読書用に貸し出しています。



昨年7月に貸出しを始めたところ、好評につき9月には早速2台目のハンモックが登場。10月下旬まで貸出しを行いました。1台は図書館で購入、もう1台は村教委職員の方からの寄贈だそうです。

利用登録をしていない方でも使用でき※、ドリンクやサンドイッチを持参して利用するリピーターも現れました。（※未登録者は連絡先の記入が必要）。

中札内村図書館の前は芝生&木陰の絶好のロケーション！感染症対策として館内での閲覧を制限している期間も、外で読書してもらうのはOKとし、今年度も貸出しを開始しました(2021年6月現在)。もちろん、安心して利用していただくために、図書館職員が除菌スプレーやアルコールによる消毒を行っています。



この取組は中札内村図書館の図書館だよりや公式ツイッターで案内しているほか、利用者の方が個人ブログで詳しく紹介しています。ぜひ検索してみてください。

ハンモック&レジャーシート使用申請書

利用日時	月	日	～	日
氏名				
利用者番号				
使用区分	種	数	台	枚
ハンモック				
レジャーシート				

使用中のケガについて、図書館は責任を負いかねますのでご参加ください。

【受付】 【返却】

ソト読書のススメ

今年もハンモックとレジャーシートの貸出しを始めました。晴れた日は、図書館前芝生で外読書しませんか？

ハンモックは2種類あります

中札内村図書館だより『本のたね』No.134 より
2021.6.1 発行

こどもの読書週間の行事から

4月23日から5月12日はこどもの読書週間です。

（公財）読書推進運動協議会の行事調査で、北海道読書推進運動協議会（事務局：企画支援課）がとりまとめた市町村立図書館（室）の取組から、ピックアップしてご紹介します。

5月の半ばから新型コロナウイルスの感染再拡大、さらには緊急事態宣言による図書館（室）の休館が相次ぎ、開催目前で中止を決定した、もしくは会期を満たさずに終了してしまったイベント等の報告も多数みられました。次年度以降、よりアップグレードしたかたちで開催出来ることを願っています。



（1）工夫がひかる！展示いろいろ

- 「プロフィールボックス」 苫小牧市立中央図書館
- 「ハニワを知ルニワ？展」 日高町立門別図書館郷土資料館
- 「お絵かきコンテスト」 黒松内町ふれあいの森情報館
- 「科学ってなんだろう？『知りたい！』未来をつくる！」 紋別市立図書館



◀ プロフィールボックス

苫小牧市立中央図書館

1つのケーキ箱に3冊の本が入ったプロフィールボックス。箱に書かれた「プロフィール」を手がかりに選んで貸出し。どんな3冊が入っているかは開けてからの楽しみ。

「ハニワを知ルニワ？展」 日高町立門別図書館郷土資料館 ▶

古代の日本についての図書を展示するとともに、ハニワのレプリカも併せて展示しました。



レプリカの展示で、本の内容もより身近に感じられそう！





◀「お絵かきコンテスト」 黒松内町ふれあいの森情報館

「ぼく・わたしの〇〇な本」をテーマに、親子連れや子どもたちに自分たちの考えた“〇〇”を「キットパス」というクレヨンで窓ガラスにお絵かきしてもらいました。また、同じテーマで子どもたちに選んでもらった本を館内に展示しました。



キットパスって？

チョークで有名な日本理化学工業株式会社の製作する環境固形マーカー。ホワイトボードやガラスなどつるつるしたものに描いて、濡れた布で簡単に消すことができるのが特徴。



◁ 科学道 100冊 科学ってなんだろう？『知りたい！』未来をつくる！ 紋別市立図書館

科学道 100冊委員会の選定する図書の展示貸出。

「科学道 100冊」の対象は中高生なので、小学生低・中学年には難しい内容の図書も多くありました。そのため、小学校1～4年生に向けた図書は図書館員が選書し、「カラダの本」「宇宙の本」「科学の本」「お家でできる実験の本」と、それぞれの分野に分けた資料を展示・貸出し、さらに自宅でできる実験の資料の展示もあわせて行いました。

(2) 子どもたちの笑顔あふれる

●「令和3年度元陣屋 絵本まつり」

増毛町総合交流促進施設 元陣屋図書室



しかけ絵本 60冊と「おはなし迷路」を図書室内に展示するとともに、期間中の土・日・祝日を「ホワイトボードにお絵かき」の日とし、子どもたちが興味・関心をよせる絵本や図鑑の中に出てくる人物や動物を描いてもらいました。

お気に入りの
赤い電車を描いてくれました！

(3) クイズで楽しく町のことを知る

●子ども読書の日事業「どくしょビンゴ」「ガチャくじ大空マニアツQ」 大空町女満別図書館・大空町東藻琴図書館

①どくしょビンゴ

町内小学生にビンゴ用紙を配布し、期間内に本を借りた児童の用紙にスタンプを押します。ビンゴがそろったら図書館で景品を渡しました。

②ガチャくじ大空マニアツQ

問題の入ったガチャをひいて、全問正解したらしおりを渡します。問題は、大空町検定「大空マニアツQ」の中から選び、低学年用と高学年用に分けて実施しました。



司書さん手作りのガチャガチャでクイズに挑戦！

(4) みんなの力でアートができあがる！

●「みんなで作ろう！モザイクアート」

池田町立図書館

図書館来館時と本の貸出時に正方形のシールを配付し、模造紙に色と番号を合わせて貼り付けてもらうと、大きな絵が浮かび上がってくるモザイクアートを用意。シールは全部で4,800枚もあり、貼り付けが完了次第終了の予定でしたが、緊急事態宣言による臨時休館のためやむを得ず中断となり、完成は再開館後に持ち越しとなりました。

完成図を予想しながら、子どもたちをはじめ多くの利用者の方がこのイベントを楽しんでいました。



少しずつ浮かび上がってくるのは
みんな大好きなあの絵本の…？！



(写真：池田町総務課提供)

(5) お気に入りの本は大切に

●「本のびょういん」

中札内村図書館

ページがとれたり破れたりしてしまった利用者ご自身の本を1人5冊の上限で持ってきてもらい、その場またはお預かりして図書修理専用の道具で修復しました。

希望される方には、1人1冊まで本へのブックコートフィルムかけも行いました。



自分の大切な本にブックコートフィルムをかけてもらう作業を、間近で見ることができました。

(6) 絵をかくことで動物や自然にふれる

●「本田哲也氏原画展及び絵本のワークショップ」

美瑛町図書館

北海道の動物や自然を題材にした絵本を手がける本田哲也氏の原画展を開催し、ご本人を講師に招いて講話・お絵かき教室を行いました。十勝岳の動物のおはなしを聞き、猫の絵を描くなど、図書館で絵を描くことを通して子どもたちが動物や自然にふれる時間となりました。



また、新館オープンから9年となる美瑛町図書館では、図書館のイメージキャラクターを募集中！（当初のめ切りは5/30でしたが緊急事態宣言を受け、7/17まで延長）

採用作品は図書館の広報やホームページ、館内掲示など、図書館に関わる様々な用途に使用される予定とのことで、どんなキャラクターが誕生するのか楽しみです。



「北海道の図書館」 活用のすゝめ

毎年、北海道図書館振興協議会（事務局：企画支援課）が調査を実施し、市町村の皆さまへ回答のご協力をお願いしている「北海道の図書館」。日々当館へお問い合わせいただく様々な質問の中から、この「北海道の図書館」掲載データが活用できる事例・項目を紹介します。



統計「北海道の図書館」

[道立図書館ホームページ](#) > [道内図書館情報](#) > [図書館統計](#) > [北海道の図書館](#)

〇〇図書館の利用登録者数を知りたい

（４）利用状況（資料費・蔵書関係・利用状況）登録者総数の項目「登録者総数」に掲載があります。

ボランティア活動を活性化させるにあたり、道内の図書館のボランティア人数を知りたい

（４）利用状況（資料費・蔵書関係・利用状況）ボランティアの人数の項目に掲載があります。
*R2調査項目「ボランティアの人数」から、今年度調査では「ボランティア登録者数」へ内容を変更しています。

令和3年度新規調査項目

New!

お問い合わせがあった質問のうち、今年度の調査項目に追加したものをご紹介します。

道内の図書館で監視カメラを設置している館はどのくらいあるか

【今年度付帯調査】図書館システム「監視カメラ」の項目を追加しました。

道内における電子図書館の導入状況を確認したい

【今年度付帯調査】図書館システム「電子図書館」の項目を追加しました。

閲覧スペースで飲食（特に飲み物）を可にしている道内の図書館を知りたい

【今年度付帯調査】その他「閲覧スペースでの飲食」の項目を追加しました。

道内図書館のうち、除菌ボックスのある図書館を知りたい

【今年度付帯調査】その他「除菌ボックス」の項目を追加しました。

そのほか令和3年度追加項目

New!

宅配サービス「希望者（臨時）」

コロナ禍においても重要な、宅配サービスについての項目を追加しました。

「コロナ交付金を何に活用したか」

消毒機の導入や学校支援など、活用方法についての項目を追加しました。

お忙しい中、調査にご協力いただきましてありがとうございました。
発行に向け、鋭意編集作業中です。公開をお楽しみに！

■お知らせ

(1) 学校図書館サポートブックス

2期・後期・3期 **追加募集** のお知らせです

学校図書館での活用をはじめ、学級文庫や市町村立図書館（室）での貸出しなど、いろいろな使い方ができる便利なセットです。中高生向け図書や授業に役立つ図書を揃えたいと考える図書館にとって選書の参考になるセットも用意しています。

2期・後期・3期の募集は**残り21セット**（発行日現在）。申込みは先着順で承っておりますので、まずは電話等でお気軽にお問い合わせください。

	募集中のセット名	冊数	募集セット数	貸出期間
2期	「北海道を知る本 H」 (History 文化・歴史編)	約 40 冊	3 セット	令和3年8月下旬 ～ 12月下旬
	「北海道を知る本 N」 (Nature 自然・動植物編)	約 40 冊	2 セット	
後期	「朝読・昼読ブックス」	約 130 冊	4 セット	令和3年 10月中旬 ～ 令和4年 3月下旬
	「仕事ナビブックス」	約 60 冊	1 セット	
	「Hokkaido 愛食・食育ブックス」	約 160 冊	3 セット	
3期	「北海道を知る本 H」 (History 文化・歴史編)	約 40 冊	3 セット	令和4年 1月下旬 ～ 3月下旬
	「北海道を知る本 N」 (Nature 自然・動植物編)	約 40 冊	2 セット	
	「授業お役立ちセット K」 (教育出版・国語)	約 160 冊	1 セット	
	「授業お役立ちセット M」 (光村図書・国語)	約 170 冊	1 セット	
	 「中高生向けおすすめセット A」 (ノンフィクション)	約 160 冊	1 セット	



(2) 令和3年度（2021年度）大会・研修会等情報 ※6月末現在

令和3年度に実施予定の図書館に関する大会や研修事業等を一覧にしました。
研修等参加の参考情報としてご活用ください。

実施日	事業名	主催機関・団体	開催地（会場）
7月 8日～9日	全道図書館中堅職員研修会	北海道図書館振興協議会、 道立図書館	オンライン【ライブ】 （道立図書館）
9月 3日～24日	北海道図書館大会	北海道図書館連絡会議、 道立図書館	オンライン 【オンデマンド】
9月 16日～17日 ※6月から延期	全道図書館新任職員研修会	北海道図書館振興協議会、 道立図書館	江別市 （道立図書館）
9月 23日～26日	北海道学校図書館研究大会 函館大会	全国学校図書館協議会、北 海道学校図書館協会ほか	オンライン 【オンデマンド】 （函館市）
10月14日	全道図書館専門研修 ＜サービス（地域資料）＞	北海道図書館振興協議会、 道立図書館	八雲町 （八雲町公民館）
11月 1日～30日	図書館総合展 2021 _ONLINE_plus	図書館総合展運営委員会	ウェブサイトと小会 場群をつなぐハイブ リッド形式
11月 11日～12日	全国図書館大会	日本図書館協会	オンライン開催 （山梨県）
11月12日	全道図書館専門研修 ＜経営（企画・広報）＞	北海道図書館振興協議会、 道立図書館	名寄市 （駅前交流プラザ「よ ろーな」）
11月19日	全道図書館長会議（講話）	北海道図書館振興協議会、 道立図書館	札幌市 （札幌市中央図書館）
11月22日	全国公共図書館研究集会（サ ービス部門、総合・経営部門）	日本図書館協会	福岡県福岡市 （福岡リーセントホテル）
11月 25日～26日	全国公共図書館研究集会（児 童青少年部門）/ 北日本図書 館連盟研究協議会	日本図書館協会、 北日本図書館連盟	岩手県盛岡市 （いわて県民情報交 流センター）
12月 9日～10日	全道図書館専門研修 ＜子ども読書（地域支援）＞	北海道図書館振興協議会、 道立図書館	江別市 （道立図書館）
12月予定	図書館地区別（北日本）研修 会	文部科学省、 青森県立図書館	青森県
1月14日	全道図書館専門研修 ＜経営（関係法規）＞	北海道図書館振興協議会、 道立図書館	江別市 （道立図書館）
1月予定	北海道学校図書館研修講座	北海道学校図書館協会	札幌市

研修についての情報は、次のサイトもご参照ください。

■日本図書館協会 > JLA主催行事

<http://www.jla.or.jp/jlaevent/tabid/93/Default.aspx>

■国立国会図書館 > 図書館員の方へ > 図書館員の研修 ※遠隔研修など

<https://www.ndl.go.jp/jp/library/training/index.html>

(3) 図書館関連団体まとめてみました

道内の遠い地域や道外で開催される会議や研修も、リモートやオンラインといった方法により、以前より身近になりました。各種お知らせをお届けする機会が多い図書館関連団体を、この機会に整理してみました。

※来年、令和4年の北日本図書館大会は北海道が開催地です（主催：北日本図書館連盟）。

北海道図書館振興協議会

目的：全道の公立図書館及び公民館等が相互に連携するとともに、各市町村図書館協議会等関連団体との連絡を密にして、北海道における図書館の振興をはかる。（北海道図書館振興協議会会則）

構成：北海道立図書館、道内市町村の図書館（公立図書館）、公民館

※加入は随時受け付けています。

令和3年6月末現在の会員は **172市町村** です。

北日本図書館連盟

目的：北日本における公立及び私立の公共図書館（類似施設を含む。）相互の連絡協調の下に図書館に関する事項について研究協議を行い、もって北日本における図書館事業の進歩発展を図る。（北日本図書館連盟規約）

構成：北海道及び東北六県所在の図書館及び図書館関係団体

※北海道は **全市町村の図書館（室）** が加盟しています。

市町村ごとの加盟手続きは不要です（北海道負担金は道立図書館が支出）。

全国公共図書館協議会

目的：全国の公共図書館相互の連絡を密にし、図書館に関する調査研究を行い、図書館の発展を図る。（全国公共図書館協議会規約）

構成：全国の公共図書館

※北海道は **全図書館（類似施設は除く）** が加盟しています。

市町村ごとの加盟手続きは不要です（北海道分担金は道立図書館が支出）。

日本図書館協会

目的：公共図書館、大学図書館、学校図書館、専門図書館、公民館図書室、国立国会図書館、その他の読書施設並びに情報提供施設の進歩発展を図る事業を行うことにより、人々の読書や情報資料の利用を支援し、もって文化及び学術並びに科学の振興に寄与する。（公益社団法人日本図書館協会定款）

構成：正会員（個人会員、施設等会員）、準会員、賛助会員

※加盟は任意です。

北海道では **46市町** が施設等会員として加盟しています（令和3年5月）。

北海道立図書館・北海道図書館振興協議会は **施設等会員** です。

(4) 次はあなたのまちで…

～2021年春 こどもの読書週間の主な講師等一覧～

「2021・第63回こどもの読書週間」開催行事の調査回答をもとに、主な講師一覧を作成しました。今年度は感染症流行下でのこどもの読書週間という事情もあり、自治体の外から講師を招いて大きな催しを行うことが難しい状況が続いています。講師の方を招いて開催された催しはごく少数ではありましたが、次年度以降の参考にご紹介します。(敬称略)

(1) 講演・講座・ワークショップ

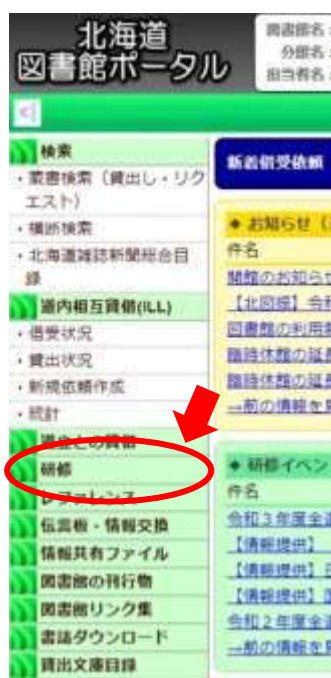
	講師名	事業概要等	実施市町村	実施日
1	稲塚 秀孝 (映画監督)	令和3年度こどもの読書週間事業 『映画「奇跡の子どもたち」上映会と 監督 稲塚秀孝氏講演会』	浦河町	4/29
2	小寺 卓矢 (写真絵本作家)	ワークショップ 小寺卓矢さんと写真絵本をつくろう	剣淵町	5/1
3	本田 哲也 (絵本作家)	本田哲也氏原画展及び絵本のワークショップ	美瑛町	5/9

(2) 人形劇・読み聞かせ等

	講師名	事業概要等	実施市町村	実施日
4	人形劇団ぱべっとグース	親子のためのパペットシアター	恵庭市	5/2

- ・各事業の詳細については、実施市町村へお問い合わせくださいますようお願いいたします。
- ・読書週間調査は、毎年、春と秋に各市町村にご協力いただき、北海道読書推進運動協議会事務局で集約し、公益社団法人読書推進運動協議会へ提出しているものです(今回は、主に4～5月に実施された行事を対象にしています)。

(5) 図書館ポータル「研修」をご活用ください



本誌前号でお知らせした図書館ポータルの「研修」フォルダ。3月のシステム更新時に新設され、複数のフォルダに分散していた研修関係のファイルが1か所にまとまりました。

ぜひご活用ください。

内容

- Web 研修 = 研修動画
- 図書館員のスキルアップ = 過去の研修会等の資料 (レジュメや成果物等)
- 道立図書館で行う研修会の開催案内
- 【参考】最近行われた研修会の案内等 (昨年度・今年度)

※「研修」フォルダの新設により、図書館ポータル内で名前を変更したファイルや削除したフォルダがあります。以前ご覧になった資料等が見当たらない時は、「研修」の中もご確認ください。



おうち時間が増える＝座っている時間が増える＝椅子が気になる。そんな今日この頃です。世の中にはいろいろなデザインの、そしてお値段も様々な椅子がありますが、共通しているのは、もちろん人が座るためのものということです。そう、椅子があれば、そこには人が座っているはず…。座りたい人がいるはず…。

劇場、映画館、レストラン、電車など、そして図書館も「空席」がまだまだ続いています。寂しいものです。見た目の雰囲気だけではなく、空席が多くなると音（声）の響き方も変わります。人が利用することを計算してつくられた空間は、やはり人がいないと何かが足りないと感じます。

現在のコロナ禍は、「トンネル」と表現されることがあります。抜けては入り、入っては抜け…。「波」と違うのは、トンネルには必ず終わりがあり、先には必ず光があることでしょうか。

寒い冬のトンネルを抜け、暑い季節がやってきます。「じっと座ってなんかいられない！」と大声で言いたい。そんな空席なら大歓迎のはずなのにな。

みなさんの図書館（室）の活動の情報をお寄せください。
随時受け付けています。

『あけぼのつうしん』読後の感想もお待ちしています。



あけぼのつうしん No. 76

発行日 令和3年(2021年)7月16日

編集 北海道立図書館総務企画部企画支援課

発行 北海道立図書館

〒069-0834 江別市文京台東町 41 番地

TEL 011-386-8521

FAX 011-386-6906

ホームページアドレス <https://www.library.pref.hokkaido.jp/>